





# 一人ひとりの市民が健康で生き生きと暮らせるまちづくり ● 福祉・子育て支援

「福祉」ってどういう意味なんだろう。辞書を調べると「公的扶助やサービスによる生活の安定、充足」。それと、「祉」という字も幸いという意味があり、「幸福」と同じと書いてあった。みんなが幸せになるために、美馬市では、どんな取り組みが行われているのでしょうか。美馬市における福祉の仕事を訪ねてみます。

**Q** 美馬市の福祉というと、どんな仕事をしているのですか。

**A** 美馬市には保険福祉部という部があり、そこに、保険年金課、生活福祉課、



子育てサロン



子育てでつながる輪

高齢・介護保険課、児童・障害福祉課、健康課という5つの課があり、福祉に関する仕事をしています。

保険年金課は、国民健康保険や国民年金、老人医療業務を行っています。生活福祉課は、地域福祉、民生委員や児童委員の業務、社会福祉団体、戦没者などの業務、生活保護や災害救助に関する業務も行っていきます。高齢・介護保険課は、高齢者や介護保険事業に関わる業務を行っています。児童・障害福祉課は、保育

所、児童手当、乳幼児の医療費、子育て支援に関わる事業や、障害者自立支援法などに基づいた障害福祉に関わる業務を行っています。

つまり、少子高齢化が大変な問題になっている現在、美馬市の将来のために、ここも大変重要な仕事をしているのです。

**Q** それでは、少子化対策は具体的にどのようなことをしているのですか？

**A** そうですね大きな柱としては、乳幼児の医療費助成制度を充実させ、3歳未満の通院や6歳未満の入院助成を、入院通院ともに7歳未満まで拡大しました。また、母子家庭の医療費助成支援も充実させています。働く人々のために、保育

所における一時保育の実施やファミリーサポートセンターの設置を行いました。また、幼稚園における預かり保育も実施しています。

〔特派員コメント〕

赤ちゃんから高齢者まで、幸せに暮らせるようにと、いろいろな福祉対策が行われていることを知りました。わたしたちも、「子育てサロン」などでボランティア活動を行っています。もっといろいろなお手伝いをしたいと思いました。

わたしたちも小さいころは、両親をはじめ、いろんな人にお世話になったんですね。大人になるころには、もっと子育て支援が充実してほしい。

## Column (コラム)

### 美馬ファミリー・サポート・センター



平成18年(2006)10月に本格的にオープンした「美馬ファミリー・サポート・センター」。0歳から小学校6年生くらいまでの子どもさんを預かって欲しい人(依頼会員)と、自宅で子どもさんを預かることができる人(提供会員)の相互援助組織です。サポートセンターが、その橋渡しをし、調整役を行います。入会は無料、子育て中のお母さんを応援するシステムです。

